

③ ダム湖の水質浄化のため菜の花栽培を推進

# 100年先までも 美しい水を残しましょう!!

団体名  
**特定非営利活動法人  
川崎町の資源をいかす会**  
主な活動地域 宮城県柴田郡川崎町 釜房ダム周辺



## 目的

川崎町は仙台市の水瓶である釜房ダムの上流にあり、同団体は以前より釜房ダム湖の水質浄化のために、菜の花栽培や里山の萌芽更新事業などを推進してきたが、その活動をさらに充実させる。そして100年という長いスパンで地域の活性化、環境教育を推し進め、ダム湖の水質浄化を軸にした地域循環型社会の構築をする。

## 実施内容

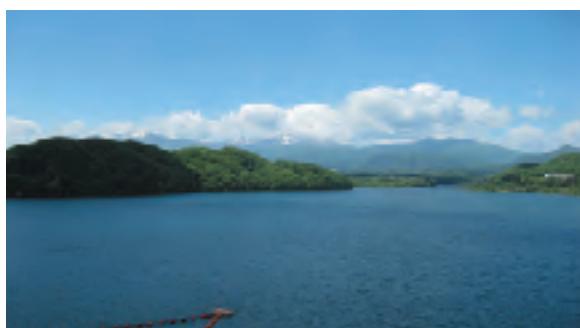
かつて里山は10年から20年で広葉樹林を伐採し、その切り株から自然に芽が出ることで森が再生され、水を貯える能力も維持できていた。最近はその能力が衰え、雨水は田畠の残留肥料を含んだままダム湖に流入している。そこで、菜の花栽培に取り組む。放置されている田畠に菜の花を植えると、残留肥料を吸収してくれ、ダム湖へ流入する水の富栄養化を防止できる。開花時の景観を楽しみながらの清掃活動や、小学生による菜種の刈り取り、搾油の体験学習を行い、その菜種油を使った給食で食育の授業なども展開する。また、助成金で購入予定の搾油機を菜種栽培農家へ貸し出したり、下流域の人々ともカヌー体験などで交流を促進したりする。

## ボランティアに参加しよう!

★菜種の種まき	2009年10月
★環境学習セミナー	2010年1~3月
★菜の花開花見学＆ダム周辺の清掃活動	2010年 2月
★菜の花の刈り取り体験	2010年 6月



活動の状況について資料や図鑑を使った説明がなされた



活動の中心となる釜房ダム

## 選考委員のひとこと

川崎町を愛しここに移り住んできた菊地理事長は大変温和な方で、地域やこれからの方々を思う気持ちが熱く、その活動は一貫性、継続性があって、助成に相応しいと判断した。インタビューを行った理事長のご自宅は森に囲まれ、薪ストーブがあり、落ち着きと気品が感じられる家だった。

TOTO 北陸支社 Yさん記



菜の花を楽しみながらのダム周辺の清掃活動が好評だ